

### 環境調査結果のお知らせ

令和8年4月30日9時から野見湾の環境調査を実施しました。

#### 概況

検鏡の結果、魚類に対して有毒とされるカレニア・ミキモトイ、シャットネラ属がそれぞれ最高1 cell/mL 確認されました。また、主に麻痺性貝毒の原因種とされるアレキサンドリウム属が最高で1 cell/mL確認されました。アレキサンドリウム属は、100 cells/mlに達すると二枚貝を毒化させる可能性があります。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	ココロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)				
A ガラク (4m) 【10:24】	0	21.5	32.8	7.2	0	0	0	0
	2	21.6	33.0	7.2	0	0	0	0
	5	21.6	34.1	6.9	0	0	0	0
	10	21.5	34.1	6.9	0	0	0	0
	底層 13.5	21.4	34.1	7.3	-	-	-	-
B 勢井 (4.2m) 【10:43】	0	21.3	32.6	7.4	0	0	0	1
	2	21.4	32.8	7.4	1	0	0	0
	5	21.2	33.7	7.3	0	0	0	0
	10	21.4	34.1	7.3	0	0	0	0
	底層 20.5	20.9	34.1	6.9	-	-	-	-
C 馬の背 (2.7m) 【10:49】	0	21.2	32.4	7.5	0	0	0	0
	2	21.5	33.2	7.2	0	0	0	0
	5	21.5	33.9	7.1	0	0	0	0
	10	21.3	34.1	7.2	0	0	0	0
	底層 20.5	20.8	34.1	6.8	-	-	-	-
D 大室戸 (3.9m) 【10:04】	0	21.3	32.2	7.5	0	0	0	0
	2	21.7	32.8	7.5	0	0	0	0
	5	21.5	33.8	7.3	0	0	0	0
	10	21.6	34.1	7.2	0	0	0	0
	底層 18.5	20.9	34.2	6.8	-	-	-	-
E 白浜 (3.9m) 【10:13】	0	21.1	32.0	7.5	0	0	0	0
	2	21.7	33.2	7.4	0	1	0	1
	3	21.5	33.4	7.6	-	-	-	-
	4	21.4	33.6	7.6	-	-	-	-
	5	21.2	33.8	7.5	0	0	0	0
	10	21.3	33.9	7.3	0	0	0	0
底層 17.5	20.8	34.0	6.8	-	-	-	-	
F 湾奥ブイ (3.9m) 【09:55】	0	21.2	32.1	7.6	0	0	0	0
	2	21.8	33.0	7.7	0	0	0	0
	5	20.9	33.5	7.9	0	0	0	0
	10	20.8	33.8	7.3	0	0	0	1
	底層 15.5	20.4	33.8	6.8	-	-	-	-

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン			
	深度	水温	塩分	溶存酸素	カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ 属	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	アレキサンドリウム 属
	(m)	(°C)		(mg/L)				
G 大谷漁港内 (3.6m) 【11:02】	0	21.5	32.3	7.6	0	0	0	0
	2	21.6	33.0	7.6	0	0	0	0
	5	20.8	33.5	7.7	0	0	0	0
	底層 8.5	20.3	33.6	6.9	-	-	-	-
1 避難漁場 (5.4m) 【10:30】	0	20.9	31.6	7.4	0	0	0	0
	2	21.7	33.1	7.3	0	0	0	0
	5	21.8	34.1	7.1	0	0	0	0
	10	21.9	34.3	7.4	0	0	0	0
	底層 24	21.2	34.3	7.1	-	-	-	-

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3
				野見湾
カレニア・ミキモトイ	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	6～8月
シャットネラ属	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	2～4月
アレキサンドリウム属	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	1～4月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



A: ガラク

B: 勢井

C: 馬の背

D: 大室戸

E: 白浜

F: 湾奥ブイ

G: 大谷漁港内

1: 避難漁場

カレニア・ミキモトイ  
最大細胞密度



シャットネラ属  
最大細胞密度



コクロディニウム・ポリクリコイデス  
最大細胞密度



アレキサンドリウム属  
最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ  
円のサイズが大きいくほど、プランクトンの数が多いので注意してください。



注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。  
基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

